

# 長崎港を観光船でめぐつて



長崎は造船の町として、様々な造船所があります。これらを紹介するため、今回は視点を変え、海の上から造船所を見ることにしました。そこで私は、そこを運転の新・観光丸に乗船し、取材をしました。

今日は、八月二十四日にやまと海運株式会社の新・観光丸に乗船し、取材をしました。これまで私は、今まで造船所を見たことがあります。これから造船所を見ることにしました。

今日は、八月二十四日にやまと海運株式会社の新・観光丸に乗船し、取材をしました。そこで私は、そこを運転の新・観光丸に乗船し、取材をしました。今まで造船所を見たことがあります。これから造船所を見ることにしました。

# 長崎工業高校造船新聞

第4号  
長崎工業高校  
機械システム科

荒木 江村 江頭 森山



運行ルート（やまと海運HPより）



ジャイアントカンチレバーカーレーン

## 造船所から見える造船所

三菱重工業  
長崎造船所

三菱重工業の主力工場・造船所の一つです。旧日本海軍が誇る世界最大の大和型戦艦の第二番艦武藏は、長崎市の三菱重工長崎造船所で建造されました。国家機密だった武藏の建造実績は、長崎造船所の技術の評価を高め、戦後は海上自衛隊の艦艇受注へつながりました。長崎造船所では、小菅修船野においては、幕末から明治にかけて世界に類を見ないほど飛躍的な進化・発展を遂げました。現在では、海外から二百隻以上の大型客船の寄港地として栄えております。

福岡造船グループは、九州最大の政治経済都市である福岡市、港湾に恵まれている長崎市、リアス式海岸に囲まれた大分県臼杵市を中心日に日々邁進しております。また、「人々の夢や希望を載せた船を造る」をモットーにしており、主力建造船であるケミカルタンカーをはじめ、油槽船、メント船、LPG船、フェリー、バルクキャリアなど

豊富な建造実績を有し、その優れた技術力で、国内はもとより世界でも高い信頼と評価を得ています。長崎事業所では二〇〇四年の創業以来、ケミカルタンカーを中心多く船舶を世界に送り出しています。これまで得意としていた二十

千DWTのタンカーから、タート、徐々に大型化し三十三千DWTクラスまで実績を積上げ、二〇二一年には最大級の四十七千DWTタンカーの竣工を計画しています。



海上から見た長崎造船



三菱重工業香焼工場ドック

長崎造船

タート、徐々に大型化し三十三千DWTクラスまで実績を積上げ、二〇二一年には最大級の四十七千DWTタンカーの竣工を計画しています。

福岡造船グループは、九州最大の政治経済都市である福岡市、港湾に恵まれている長崎市、リアス式海岸に囲まれた大分県臼杵市を中心日に日々邁進しております。また、「人々の夢や希望を載せた船を造る」をモットーにしており、主力建造船であるケミカルタンカーをはじめ、油槽船、メント船、LPG船、フェリー、バルクキャリアなど豊富な建造実績を有し、その優れた技術力で、国内はもとより世界でも高い信頼と評価を得ています。長崎事業所では二〇〇四年の創業以来、ケミカルタンカーを中心多く船舶を世界に送り出しています。これまで得意としていた二十

千DWTのタンカーから、タート、徐々に大型化し三十三千DWTクラスまで実績を積上げ、二〇二一年には最大級の四十七千DWTタンカーの竣工を計画しています。

## 井筒造船所

戦後になって、国民の海産物食料を確保するための底引き漁船、まき網漁船を建造してきました。現在では漁船、作業船、小型客船などを手がけており、特に沖合漁業に従事する漁船を建造する日本でも数少ない造船所です。



浮きドック

**渡辺造船所**

渔船、貨物船などの様々な船の建造・修繕・改造をしています。従業員などのことも考え、中小造船所の中では国内で初めて「全天候型の可動式ドーム」を取り入れています。船舶の建造のみではなく、主力船舶関連メーカーにはない特殊ニーズに応ずる製品の開発・製造・販売なども行つおり、最近では福岡造船㈱の子会社となりました。

**シップ感想**

長崎造船組立、溶接、切断、曲げ加工等の現場仕事や、事務、船舶設計等の船舶の建造にかかわる様々な業務を見せていただく事ができました。また、点検や修理のたために、泊まつていた漁船やエンジン周りの構造を説明を受けながら見せていただき、中の中室や船内に架かる橋で、長崎の港口にかかる橋で、長崎市内の交通渋滞の緩和と、長崎港の両岸に分散していくのがみおはし)は長崎港の出入りするメロ船を見ることができるメロ船の内部は工事中だったのですが、作業者の方の説明を受けながら見学することができます。私は将来、造船業の現場で働きたいと考えていたため、本当に良い経験になりました。



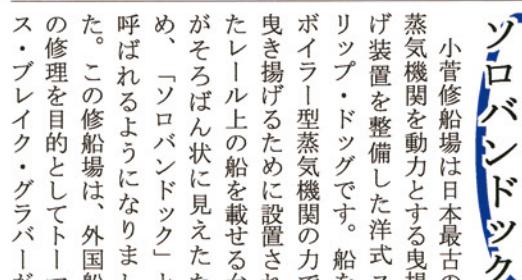
インターナンシップの様子

他の造船所では見ることのできない深海魚メロを探しました。メロ船の内部は工事中だったのですが、作業者の方の説明を受けながら見学することができます。私は将来、造船業の現場で働きたいと考えていたため、本当に良い経験になりました。



長崎女神大橋

長崎女神大橋(ながさきめがみおはし)は長崎港の両岸にかかる橋で、長崎市内の交通渋滞の緩和と、長崎港の両岸に分散していく港湾施設の連携強化・物流の効率化を図る事を目的として建設されました。愛称は「ヴィーナスウェーブ」です。長崎港に大型の客船が出入りすることを考慮して、水面から非常に高い場所を人や車が通行する斜張橋の形式を取つており、客船クイーン・メリーニー世などもこの下を通過出来ます。橋の下を通過するとき、その大きさに圧倒されれます。



## ソロバンンドック

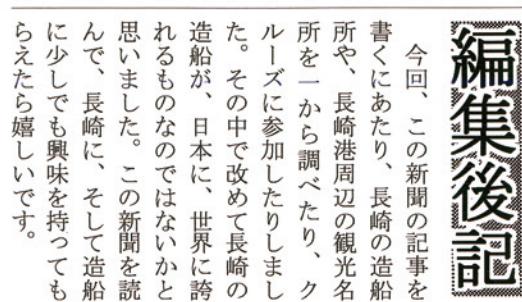
小菅修船場は日本最古の蒸気機関を動力とする曳揚げ装置を整備した洋式スリップ・ドックです。船をボイラーワーク型蒸気機関の力で曳き揚げるために設置されたレール上の船を載せる台がそろばん状に見えたため、「ソロバンドック」と呼ばれるようになりました。この修船場は、外國船の修理を目的としてトーマス・ブレイク・グラバーが



神ノ島マリア像

**神ノ島マリア像**

教会の前の岬に立つ聖母マリア像は高さ4メートル60センチで、長崎港出入りする船舶の安全を祈願して建てられたものです。



## 編集後記

今回、この新聞の記事を書くにあたり、長崎の造船所や、長崎港周辺の観光名所を一から調べたり、クルーズに参加したりしました。その中で改めて長崎の造船が、日本に、世界に誇れるものなのではないかと思いました。この新聞を読んで、長崎に、そして造船に少しでも興味を持つてもらえたなら嬉しいです。

ができました。私は将来、造船業の現場で働きたいと考えていたため、本当に良い経験になりました。

## 長崎港周辺の観光名所を運行ルート順に紹介します

長崎女神大橋(ながさきめがみおはし)は長崎港の両岸にかかる橋で、長崎市内の交通渋滞の緩和と、長崎港の両岸に分散していく

港湾施設の連携強化・物流の効率化を図る事を目的として建設されました。愛称は「ヴィーナスウェーブ」です。長崎港に大型の客船が出入りすることを考慮して、水面から非常に高い場所を人や車が通行する斜張橋の形式を取つており、客船クイーン・メリーニー世などもこの下を通過出来ます。橋の下を通過するとき、その大きさに圧倒されれます。

マリア像は高さ4メートル60センチで、長崎港出入りする船舶の安全を祈願して建てられたものです。

薩摩藩士らと計画し、スコットランドから曳揚げ装置を一式を取り寄せ、明治元年に完成しました。翌年明治新政府が買収、長崎製鐵所が管理し、明治二十年に三井の所有となり現在に至っています。その意味で小菅修船場は日本の近代造船所発祥の地ともいえます。また、曳揚げ小屋は現存する日本最古の本格的な煉瓦造の建物です。現在は国の史跡に指定されています。